

表面より続く

### 小中一貫校も「再考」を

市の説明によると、オリンピック等の影響による建設単価の値上がりを受け、庁舎の建設単価を1㎡あたり40万円から50万円(文化施設は60万

円)に変更し、算出し直しています。建設単価の上昇は、一中校区の施設一体型小中一貫校の計画にも大きく関係します。庁舎だけでなく、小中一貫校の計画も含めて「再考」し、財政計画を見直すべきです。

### 新庁舎整備「再考」にあたって

〜日本共産党はこう考えます〜

日本共産党は、コロナ禍のもとで、市の財政見通しが厳しくなるなか、市が無謀な新庁舎整備計画の「再考」を表明したことは、必要で当然の判断であると考えます。

重要なことは、今後の「再考」にあたり、これまで日本共産党などが多く指摘してきた課題や市民の声を真摯に検討しなおし、市民の合意を得ながら計画見直しを進めることです。

「いきいきランド」は庁舎に適さない

そもそも「いきいきランド」は駅から遠く、ゆうゆうバスも廃止されたいま、交通アクセスの悪さが大きな問題です。また、遊水池としての機能をもつ駐車場の安全対策も必要です。

立地条件の悪い「いきいきランド」ではなく、市民が利用しやすい場所を再検討すべきです。

### 現庁舎の詳細調査なし

現在の市役所庁舎は、築後48年で、耐震工事が未実施のため、早急な耐震対策が必要なことは確かです。その際、現在の建物を耐震化工事するか、新たに建て替えるのかの判断は、建物躯体等の詳細調査を行い、費用対効果を示して十分比較検討すべきと日本共産党は求めてきました。

しかし市は詳細調査等を実施せず、移転建て替えありきで検討をすすめてきました。改めて調査検討すべきです。

### 「青年の家」廃止やめよ

駅に近く便利な「青年の家」は、新庁舎と複合化するのではなく、現在の場所でエレベータなど必要な整備を行い継続す

べきです。そのことが、全体の事業費を抑え、地域の避難所を確保することにともながりま

### 既存施設の有効活用を

市役所別館は、すでに耐震化が済み、エレベータも設置されています。別館や青年の家など、既存の施設を有効に活用し、事業費を抑えるべきです。

日本共産党は引き続き、市民が利用しやすい安全でコンパクトな市庁舎整備になるよう、市民とともに十分検討することを求めています。

みなさんのご意見、ご要望など、ぜひお聞かせ下さい。



## 日本共産党 9月議会に4本の意見書案を提出

- ①PCR検査のさらなる拡充を求める意見書
- ②義務教育全学年で20人程度の少人数学級を実現することを求める意見書
- ③日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書
- ④新型コロナウイルス感染症の経済対策として消費税率の引下げを求める意見書

※いずれも議会運営委員会で賛成少数により、本会議に上程されませんでした。